

## 令和2年度事業計画

### I. 情勢と経営者・組織をめぐる課題

我が国の農業・農村は、人口減少に伴う国内マーケットの減少、農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の拡大、鳥獣被害の深刻化など厳しい状況が続いている。また、消費者ニーズの多様化や一連の農政改革、グローバル化の進展など、農業を取り巻く環境は刻々と変化している。さらには、度重なる局地的な豪雨・台風など気象災害による被害が全国各地で発生し、温暖化による農産物の生産環境の悪化等も懸念される中、新型コロナウイルス感染症への対応といった新たな課題に直面している。

こうした状況の中、「食料・農業・農村基本計画」が見直され、今後は、地域をいかに維持し、次世代に継承していくのかという視点が重要であり、国内農業の生産基盤の強化を図っていくための施策が展開されることとなっている。

先進的経営を展開する本会会員は、最先端の技術・情報を積極的に取り入れ、一層の経営改善・発展を図るとともに、地域農業をリードすることが求められている。

以上のような情勢を踏まえ、今年度の経営者運動の重点課題は次の4点とする。

- (1) 農業経営の採算の悪化、国際化の進展、食の安全性への関心の高まり、環境問題の深刻化など農業経営をめぐる環境の変化が著しいことから、これらに対応できる経営者として意識改革を進める。
- (2) 新たな農政の展開に対し、その積極的な活用と意見具申を行うとともに、地域農業の発展に向けて、地域農業の核になるよう取り組む。
- (3) 公益社団法人日本農業法人協会、全国認定農業者協議会等の農業経営者組織との連携を強化する。
- (4) 農業者にとって既存の制度の廃止・改正などが不利益になる場合は、関係団体との連携を踏まえて、政府、関係機関・団体等への要望活動を行うこととする。

## Ⅱ. 事業計画

### 1. 会議の開催

総会、役員会、監事会など、会務運営のために必要な諸会議を開催するとともに、農林水産省や関係機関等との意見交換を実施する。また、全国認定農業者協議会や（公社）日本農業法人協会等とも連携して研究会を開催する。

### 2. 農政活動の強化

日本の農業・農村の再生と持続的な成長を実現するため、現場に立脚した活動をはじめ、関係組織との連携強化を通じて、農業者や農村地域の声を汲み上げ集約した提言・要請等を取りまとめ、政府・国会に実現を働きかける。

このため、農業生産現場の調査・研究の実施、農業者の生の意見・要望の積み上げにより、提案力・実現力を強化する。

また、新型コロナウイルス感染症への対応については、今回の事態も踏まえた新たな感染症等によるリスクについて調査・分析し、中長期的な課題や取り組むべき方向性について検討する。

### 3. 国民・消費者等との交流の促進

日本農業や国内生産の重要性、生産者の努力等を国民・消費者に正しく理解してもらうため、あらゆる機会をとらえて消費者との交流を深める。また、消費者との交流を図るため、各経営者組織とともに体験農業に取り組む会員の情報をホームページに掲載することで、都市農村交流を促進する。

### 4. 相互研さん・研修活動

#### (1) 各種研修会等の開催

複式簿記記帳研修、税務等に関する研修会その他、農業経営者が抱える問題等を解決するための各種研修会等を企画・開催する。この場合、必要に応じて関係組織とも連携を図る。

#### (2) 第50回全国農業経営者研究大会の開催

時代に対応できる経営感覚を養い、経営管理能力を高めるため、全国農業経営者研究大会を開催する。また、今回が記念大会であることから、会員相互の意見を踏まえ、分科会を含めた大会内容の充実を図る。

日時：令和3年1月下旬～2月上旬

場所：都内

### (3) 会員向け研修会の開催

全国認定農業者協議会や（公社）日本農業法人協会等とも連携し、研修会を実施する。

## 5. 情報活動の強化

### (1) ホームページや電子メール等による情報の提供・交換

ホームページ等の活用による迅速な情報の提供や経営者相互の情報交換を行うとともに、マスコミを通じた対外広報活動を強化し、国民合意の農政を確立するための農政活動に取り組む。

### (2) 全国農業新聞による情報提供

全国農業新聞を組織内外にわたる情報媒体と位置付け、経営者のニーズに応える企画・編集となるよう協力する。

## 6. 若手農業経営者の交流促進と育成

次代を担う若手経営者の連携強化のため、部門別経営者組織の青年部と連携を図りつつ、若手経営者の交流を促進する。

また、優秀な人材を確保するため、日本農業法人協会が実施する新規就農相談活動や農業インターンシップに協力し、農業法人への就業活動を支援する。

## 7. 外国人技能実習制度への協力・活用

農作業従事者の安定的確保と国際協力の推進に資するため、全国農業会議所が実施する外国人技能実習生等を対象とした技能評価システムの構築について協力するとともに、必要に応じてその活用を図る。

## 8. 経営者組織等との連携強化

農業経営をめぐる情勢変化を踏まえ、関連諸制度の確立等のために（公社）日本農業法人協会、全国認定農業者協議会等との連携をさらに強化する。